

平成 3 0 年 6 月 議 会
第 4 委 員 会 報 告 資 料

九州大学箱崎キャンパス跡地の
まちづくりについて

平成 3 0 年 6 月 2 0 日

住 宅 都 市 局

1. 報告の趣旨

- 九州大学箱崎キャンパス跡地については、本年9月に伊都キャンパスへの移転が完了するため、まちの空洞化を懸念する周辺地域より、早期の土地利用転換が求められていることから、まちづくりの具体化に向けた取組みを着実に進める必要がある。
- まちづくりの具体化にあたり、まずはその指針となる九州大学箱崎キャンパス跡地ランドデザインを、地域の代表等からなる九州大学箱崎キャンパス跡地利用協議会や関係者のご意見を伺いながら、福岡市・九州大学において本年7月にとりまとめを行う。
- その後、この「ランドデザイン」を踏まえ、都市計画手続きや土地利用事業者公募に向けた民間事業者ヒアリング等により、まちづくりの具体化に取り組んでいく。

「ランドデザイン」について

- 良好な市街地形成と新たな都市機能を導入するため、まちづくりに共通する整備ルールや将来の絵姿等を示すもの。
- 跡地等及び周辺地域における調和と一体的なまちづくり、将来に渡って持続的に発展していくための指針となるもの。
- なお、まちづくりの具体化とあわせて、石積み遺構や土壌汚染調査・対策、周辺地域の教育環境の充実等について、関係者と連携しながら検討・調整を行っていく。（必要に応じて、適宜、「ランドデザイン」へ反映）

2. ランドデザインの位置づけ

跡地利用将来ビジョン（H25.2）

- ・検討委員会が策定し、福岡市・九州大学へ提言

跡地利用計画（H27.3）

- ・福岡市・九州大学が策定

ランドデザイン

- ・福岡市・九州大学が策定（H30.7予定）

まちづくりの具体化

- 土地利用計画
- 空間整備計画
- まちづくりマネジメントなどの具体化

各種まちづくりの計画

- 都市計画の手続き（地区計画、用途地域の変更など）など

土地利用事業者の公募等

必要に応じて反映

3. ランドデザインの構成

- 1 グランドデザインの位置づけ・構成等
- 2 まちづくりの概要
- 3 まちづくりの全体像
- 4 FUKUOKA Smart EASTの取り入れ方
- 5 都市空間整備の方針（都市空間整備の考え方、オープンスペース（広場・公園等）、歩行者動線など）
- 6 都市機能配置の方向性（都市機能配置の視点など）
- 7 環境共生（循環型社会の形成など）
- 8 安全・安心への配慮（防災性の向上、防犯への配慮、ユニバーサルデザイン）
- 9 まちづくりマネジメント

4. まちづくりの全体像

- 「跡地利用将来ビジョン」や「跡地利用計画」の内容をもとに、「FUKUOKA Smart EAST」の考え方を取り入れ、「まちづくりの基本的な考え方」や都市空間、都市機能など「まちづくりの方向性」を示す。

跡地利用
将来ビジョン
×
跡地利用計画

FUKUOKA Smart EAST

少子高齢化など、まちづくりの様々な課題を解決しながら、持続的に発展していくため、最先端の技術革新の導入などによる、快適で質の高いライフスタイルと都市空間を創出し、未来に誇れるモデル都市「FUKUOKA Smart EAST」を創造していく。
まずは、その先駆けとして、箱崎のまちづくりにおいて取組み、それが全市に広がり、さらに市を超え、より多くの人々に届くよう進めていく。

【まちづくりの基本的な考え方】

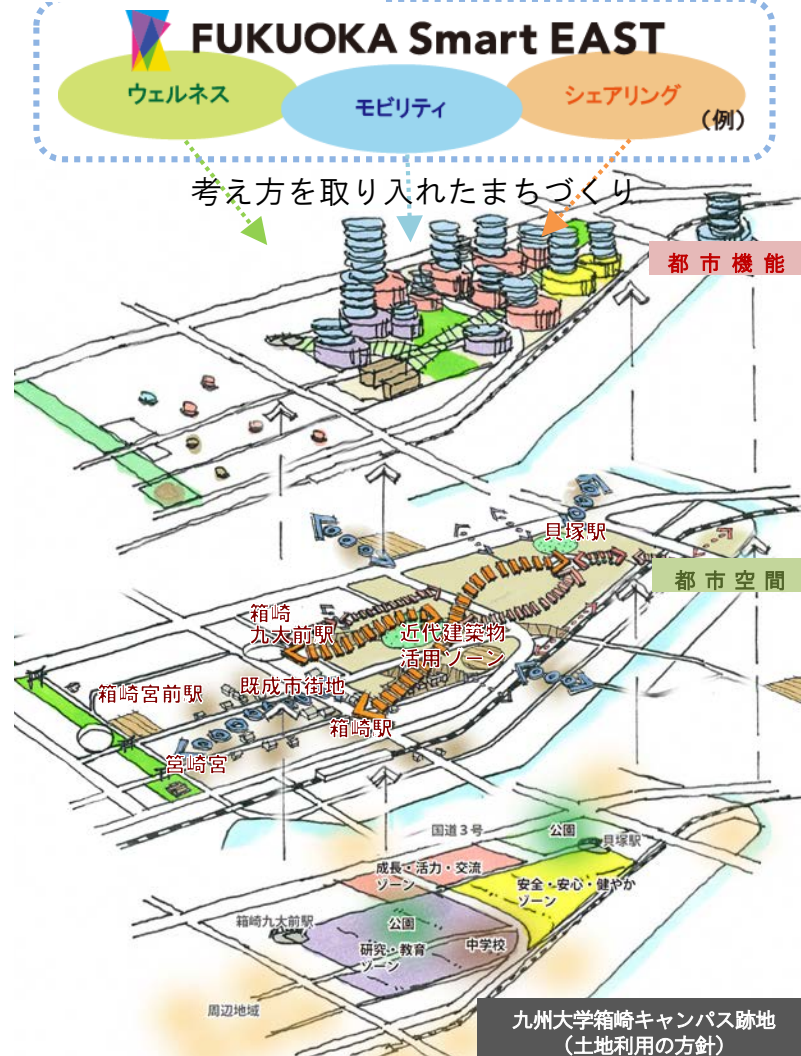
- 九州大学が百年存在した地としてのブランドと、広大な敷地や交通といった強みを活かし、働く人や学ぶ人、住む人、訪れる人などこれまで以上に幅広い人々が集まり、イノベーションを生み出す新たな拠点を創出する。
- 千年以上に渡る箱崎の歴史や文化も踏まえながら、新たな拠点の創出に向け、イノベーションを生み出すチャレンジできるまちと、幅広い人々を惹きつける高質で快適なライフスタイルや都市空間づくりに取り組み、未来に誇れるまちを創造していく。

高質で快適な
ライフスタイルや
都市空間

好循環

イノベーション
を生み出す
（チャレンジ
できるまち）

【まちづくりの方向性】



都市機能

- 「土地利用の方針」を踏まえながら、新たな拠点を創出するため、平面・立体・複合的につながる多様な都市機能の誘導を図る。

都市空間

- ここ箱崎だからこそできるまちづくりに向け、まち全体の一体感を創出する空間整備や景観の誘導を図る。
- 安全・安心・快適で健やかな暮らしを創出するため、憩いや安心を感じることができるオープンスペースや歩行者の骨格動線となる「歩の軸」など、ゆとりある空間整備の誘導を図る。
- 周辺地域との一体的な発展を目指し、箱崎千年の歴史に育まれた文化や関係性を大切に、周辺地域との調和・連携・交流を図る。
- 九州大学の地に存在する歴史的資源と緑を活かし、その面影や記憶を継承する。

環境共生

- 循環型社会の形成やエネルギーの有効活用、環境技術の活用など、環境と共生した持続可能なまちの形成を目指す。

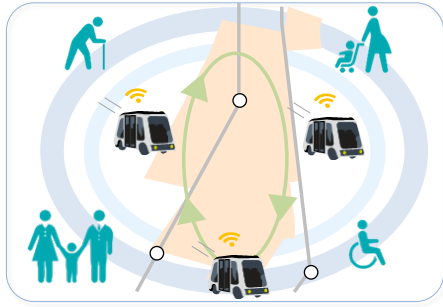
マネジメント

- 百年後の未来に誇れるまちづくりに向け、持続・発展していくための、マネジメントの仕組みづくりを目指す。

5. FUKUOKA Smart EAST

○FUKUOKA Smart EASTの取組みにより、実現されるサービスのイメージ例について示す。

1. 移動（モビリティ）



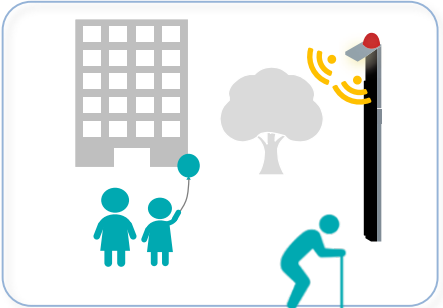
【概要】

自動運転のコミュニティバスや歩行を支援するパーソナルモビリティ等が、高齢者や障がいがある交通弱者の移動をサポートする。

【効果】

高齢者や障がいがある交通弱者でも安全で快適に移動できる。

2. 健康（ウェルネス）



【概要】

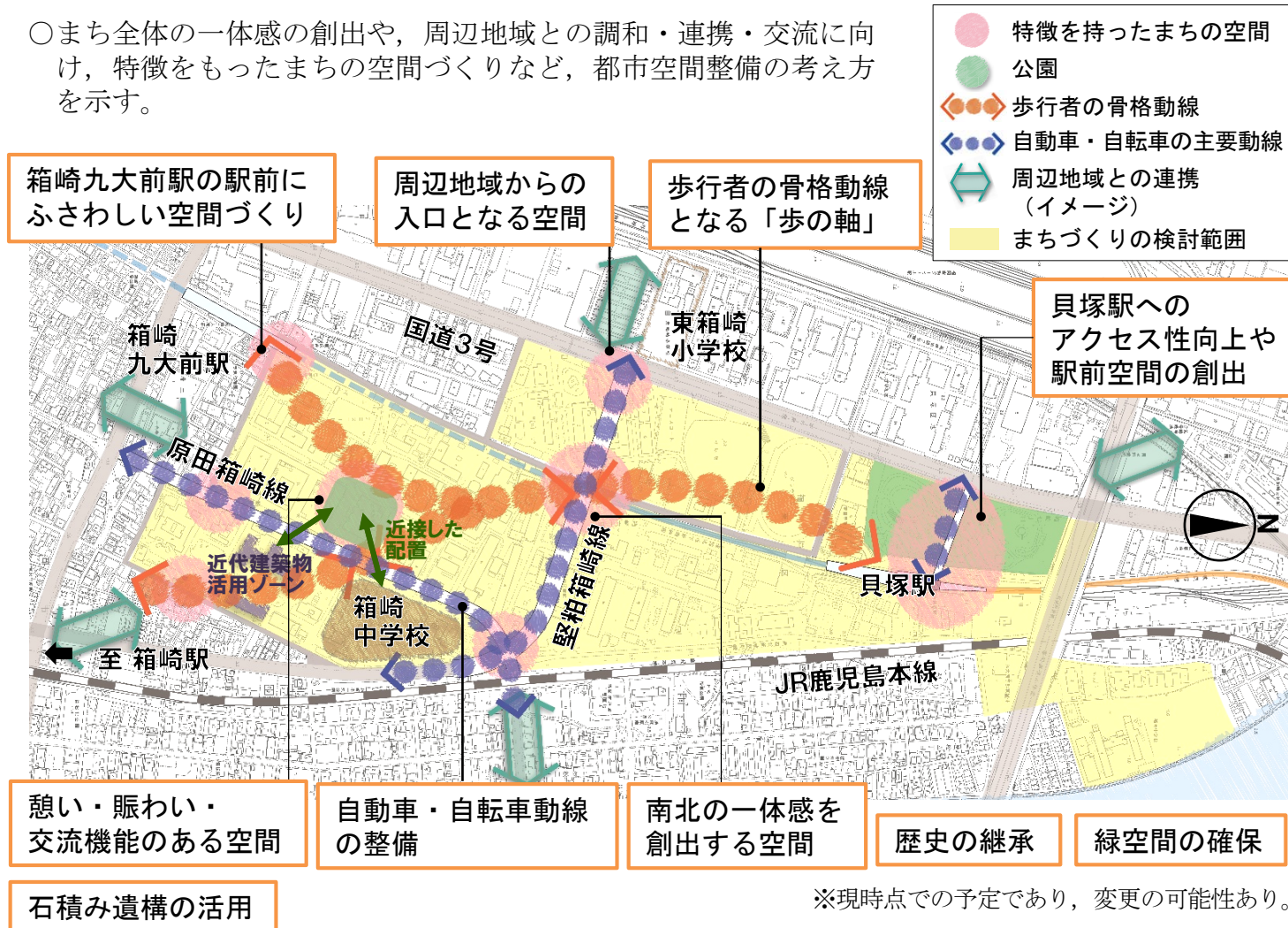
I o T端末により、子どもや高齢者の見守りなどを行う。

【効果】

見守りなどのサポートにより、安心して暮らせる。

6. 都市空間整備の考え方

○まち全体の一体感の創出や、周辺地域との調和・連携・交流に向け、特徴をもったまちの空間づくりなど、都市空間整備の考え方を示す。

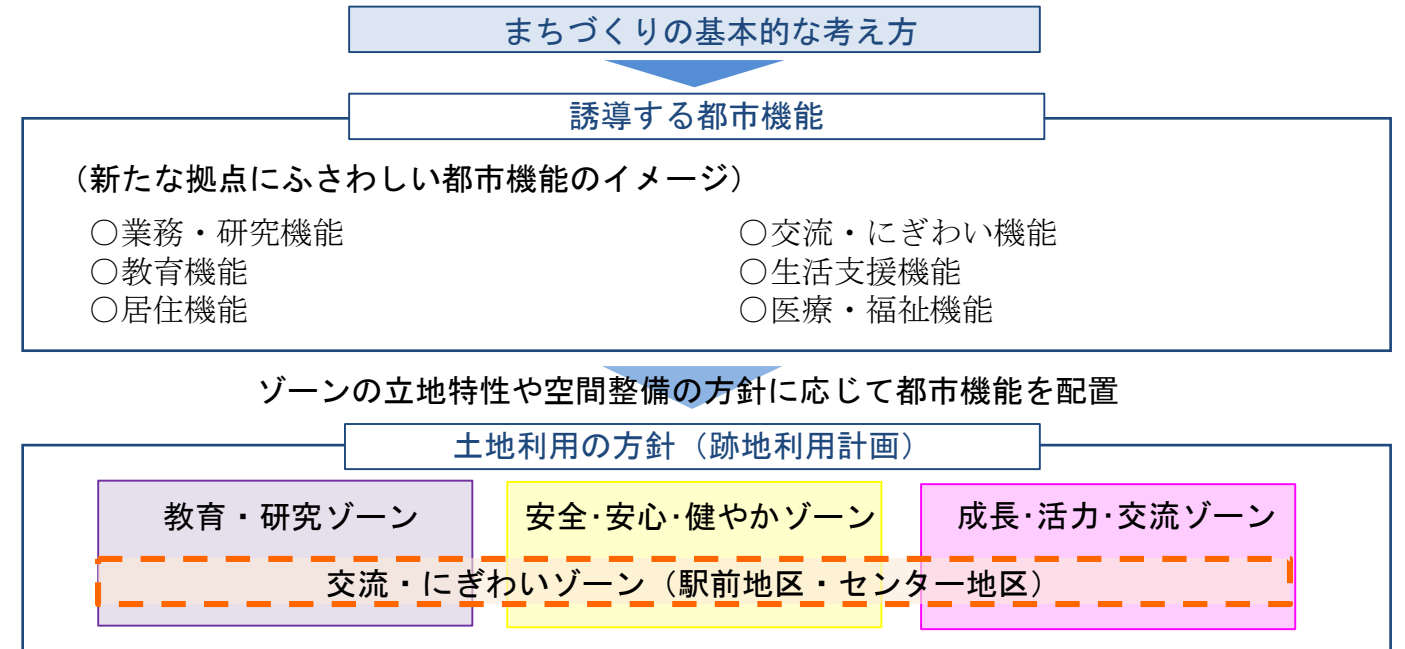


※現時点での予定であり、変更の可能性あり。

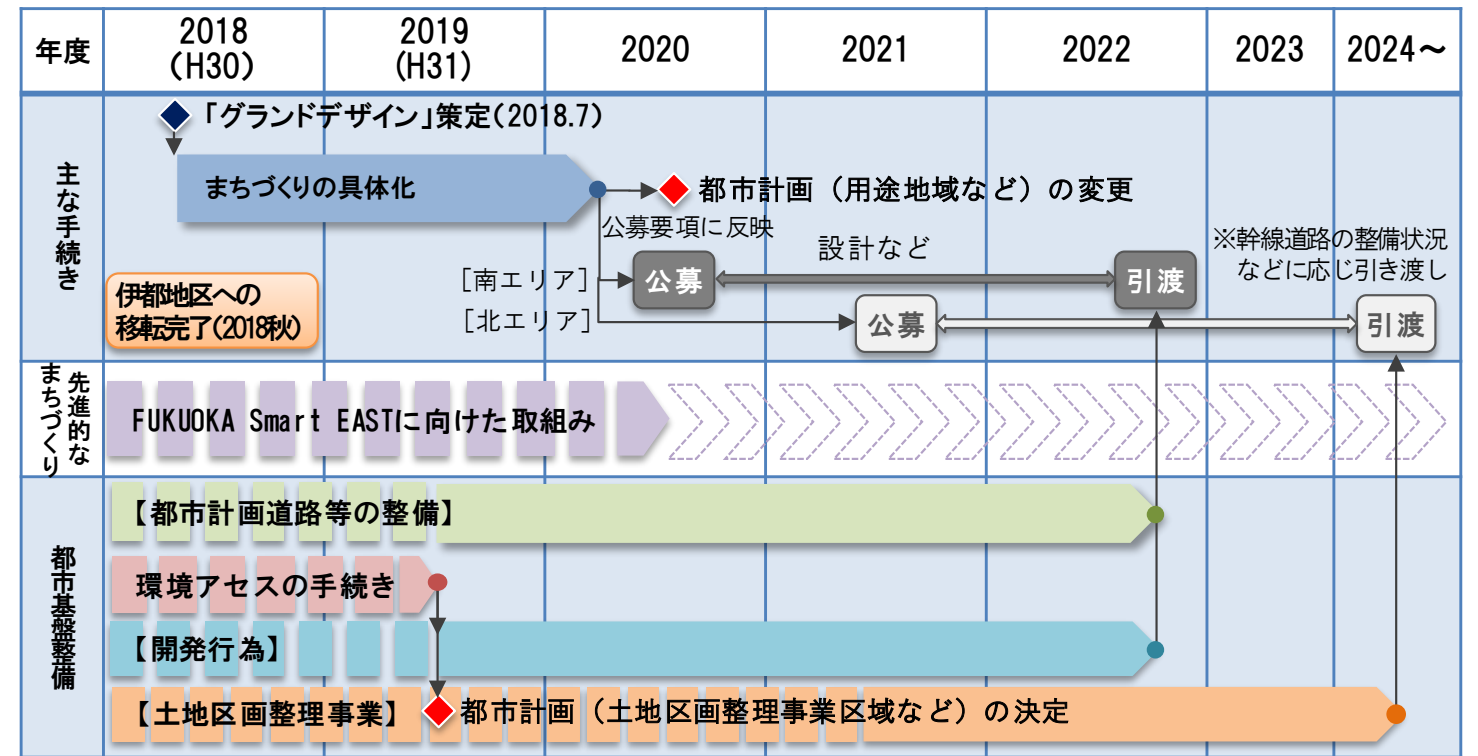
7. 都市機能配置の方向性

- まちづくりの基本的な考え方を踏まえ、新たな拠点の創出に向けた都市機能誘導を目指す。
- 都市機能誘導にあたっては、「土地利用の方針（跡地利用計画）」に基づき、ゾーンの立地特性や都市空間整備の方針に応じた配置を行っていく。

■都市機能配置の考え方（イメージ）



8. 今後の進め方について



※現時点での予定であり、スケジュール変更の可能性あり。
※まちづくりの具体化に向けて、九州大学と連携し取り組んでいく。